



News Letter
vol.95_2021.1



CS60 ニュースレター

神馬征峰先生(第1回)

今回インタビューさせていただいたのは、東京大学大学院医学系研究科 国際地域保健学教室の教授の神馬征峰先生です。アジア・アフリカ等の低中所得国や欧米の諸機関、国際機関、JICA、NGOなどと協力して、フィールドワークや研究を行っています。高城剛さんの書籍『BETTER TOMORROW』に推薦文を書かれた方でもあります。神馬先生に、研究者の目線からCS60がどう見えるかを伺ってみました。

—改めて、先生がCS60を知ったきっかけから伺っても良いでしょうか？

神馬:昔から健康問題を解決するための簡便な方法に関心があったのです。気功やレイキ、民間療法、精神世界などにも興味を持っていて、色々調べたり試したりしていました。そのうち噂でCS60のことを知り、「面白そうだな。1回試しに行ってみよう」と思ったのです。施術を受けたら、意外と良くて、西村先生とも気が合いました。

—先生は研究者でありながら、科学や医学研究では説明できない分野にも抵抗がないのですね。

神馬:そうですね。もともと医学の限界のようなものはパレスチナやネパールで経験していたのです。パレスチナで2年、ネパールで5年働きましたが、特に電気も電話も車道もない遠隔地には医療機器も少なく、医療者もほとんどいません。そこでいかに健康対策をするか？そこに滞在しているうちに、医療機器を使わないで手当てだけで治療したり、伝統医療で薬草を処方したり、一種の催眠効果を使って治す呪術医の活動現場を目の当たりにしました。そういうものに関心があったし、わかっている範囲の科

学ので出来ることはとても限られていると感じたのです。ですから「一見あやしいけれどもすごく効く」というものが好きでした。

CS60 は、小さな機器で、かなりの問題解決に役立ちます。他の代替医療の分野ではあまりないことですね。針も刺さないし、服を着たままでできてしまう。そういう技術的な新しさは他に類似を見ないところですよ。

—確かにそうですね。先生は気功療法も何度か受けたと聞いています。気功と CS60 はどう違うのでしょうか。エネルギーを循環させる点では共通しているのかなと思うのですが。

神馬: 気功はもともとのすごく能力のある人か、かなり長い時間トレーニングを積んだ人でないとなかなか効かないのです。CS60 はあまり経験がない人がやっても一定の効果があります。そのあたりが CS60 のすごいところですよ。それと、CS60 は辛い修行というファクターはそんなない感じがしますね。それでみなさん楽しく施術されているんですよ。

—先生にとって CS60 はどういうものだと思いますか？

神馬: よくわからないけれども、10 年以上続けている実績があり、さほど大きな副作用もなく、多くの人に効果がみられているという実感を持っています。そのあたりが CS60 の一つの強みではないでしょうか。

ただ、何度か受けて感じているのは、やはり使う人によって効果の差があるのかなということです。とくに西村先生は突出しているかもしれません。他の方とは違うところがあるでしょう？ この違いはおそらく、五感(触覚, 視覚, 聴覚, 嗅覚, 味覚)の強さです。西村先生は五感がずば抜けていると思います。

—そうなんですね。私は第六感なのかと思っていました。

神馬: 五感が研ぎすまされているから、第六感が優れているのです。嗅覚で言うと、よく「鉄さびの匂いがする」とおっしゃいますよね。それは他の方でもある程度わかっている気がするのですが、他の感覚も非常に鋭敏だと思います。



—西村先生は観察眼もすごいなと思っています。自分でも気づかないような違和感をすぐ見つけてしまうので。

神馬：そこに至るためには五感を磨くのがいいですね。私はよく中村天風先生の『心に成功の炎を』や『研心抄』という本を読んでいます。この本には五感を強くするための方法が書かれています。例えば、触覚を強くするために、目を閉じて基石に触り、白と黒を判別するといったことです。

—触っただけで色がわかるのですか？

神馬：そういうトレーニングがあります。五感が研ぎ澄まされてくると、第六感が冴えて勘が良くなるそうです。

—西村先生はぱっと見ただけで「今ここが悪いね」と分かりますよね。

神馬：中村天風先生もそうなのです。彼は妊娠してる人がいると、見るだけで胎児が男

の子か女の子かわかると言ってます。一種の透視能力ですよ。それも五感を鍛えるところから始まります。CS60 ではそういうトレーニングはしていないかもしれませんが、五感を磨くトレーニングをすることによって、西村先生に一步近づけるのではないかなと最近感じています。

—どうして五感を高めることが CS60 のスキルアップに繋がるのでしょうか。

神馬:五感を高めることによって第六感も強くなり、「どこに問題があるのか」という直感が今まで以上に強くなってきます。

—西村先生はよく「ここだ！」とか「抜けた」とおっしゃいますよね。どうしてわかるのかいつも不思議でした。

神馬:それは鋭い触覚や第六感によるものではないでしょうか。そういう感覚がトレーニングによって身についてくると、皆さん一様にさらに高いレベルに上がれるのではないのでしょうか。

(つづく)

☆フランチャイズの皆さまへ☆

Workplace(ワークプレイス)にて、西村先生の施術動画を公開中。
是非、お役立てください！！ご登録方法については、CS60 本部まで。

☆CS60 OFFICIAL YouTube チャンネルのお知らせ☆

ファウンダー・西村光久の活動の様子を映像でお届けする

オフィシャル YouTube チャンネル。チャンネル登録も是非お願い致します。

<https://www.youtube.com/channel/UCYGov6clfmm9suaEOBMHtsA/videos>

世界各国・日本国内での施術の様子を随時アップロードしております！！

本ニュースレターは、編集発行人・編集長 CS60 西村光久と名刺交換をさせていただいた方にお送りしています。

登録の解除をご希望の方は、お手数ですが、下記よりお手続きをお願いいたします。

CS60 ニュースレター購読解除

また、返信・お問い合わせは、info@cs60.com までお問い合わせください。

Copyright© cs60.com, ALL rights reserved.

1-4-4-401 Kita Aoyama, Minato-ku

Tokyo 107-0061 JAPAN

[購読中止](#) | [購読の管理](#)



News Letter
vol.96_2021.1



CS60 ニュースレター

神馬征峰先生(第2回)

前回に引き続き、東京大学大学院医学系研究科 国際地域保健学教室の教授の神馬征峰先生にお話を伺います。神馬先生は、低中所得国でのフィールドワークを重視し、現地の人々の暮らしを守るために、国際レベルの保健政策の改善にも働きかけてきました。そんな神馬先生が、CS60 に注目した理由とは何でしょうか？

—神馬先生は以前、「CS60 をネパールのヒーラーに持たせたらどうなるのか、試してみたい」とおっしゃっていましたよね。その後いかがですか？

神馬：あれから新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）もあって、ネパールに行く機会が全然ないのですが、CS60 には一定の効果があると思います。かなり純朴な人が山の上に住んでいますので。

—先生がこれまで勤務されていたところは無医村が多いのですよね。

神馬：無医村といったときに、医師とは何かという定義が問われます。通常は西洋医学のトレーニングを受けた医師を指しますよね。ただ、ネパールではトラディショナルヒーラー（呪術医）もドクターと呼ばれています。ですから無医村と言いながら、村の人達はその存在を医師として認めているのです。

—なるほど。そういう方々が CS60 を持ったら、もっと助けられる範囲が広がりそうですね。

神馬：それはあると思います。彼らの「人を助けたい」という気持ちは非常に強くて、しかも現金は取らないのです。治療をする代わりに、野菜やタバコ、お酒をもらうという物々交換をして生計を立てています。もともとお金目当てではない行為なので、かなり純粋な気持ちで「人を助けてあげたい」と思っているのではないのでしょうか。CS60 はそういう人が持つと、ずいぶん効果があるのではないのでしょうか。

—CS60 の効果と、心のよし悪しには何か関係がありますか？ 仮に「これで大儲けしてやろう！」と考えている人が CS60 を持つと、効果が半減したりするのでしょうか？

神馬：それわかりません。腰痛くらいであれば良いかもしれませんが、もっと深い部分の痛み、心の悩みを持っていた場合は、効果が薄れるような気がします。ただし、これは私の想像でしかありません。実際に実験してみるなら、お金目当ての人を 100 人、お金目当てでない人 100 人集めて、それぞれのグループに CS60 を持たせてダブルブラインドテストをします。

その結果を比較すれば、「お金目当てじゃないほうが効いた！」というデータが出てくるかもしれません（笑）。それが私たちの言う科学的なアプローチです。ただそこまでやる必要はないでしょうね。

—なるほど。CS60 を広めていくには、エビデンスはあったほうがいいのかという気はしますが、先生はどう思われますか？

神馬：エビデンスにはいろいろなレベルがあります。私に聞いたということもエビデンスですし、噂もエビデンスの一つです。メタアナリシス（いくつもの研究を統合して分析する方法）や二重盲検法で出した研究成果が一番信頼性の高いエビデンスになります。しかし、新しい手法に関しては、そこその経験談でも十分なエビデンスとして信じる傾向が自分は強いです。

CS60 の強みは、10 年以上の歴史があるということです。それに加えて、いくつかの個別のエピソードを紹介するとよいと思います。科学的なエビデンスとしては弱いのですが、経験談の寄せ集めは十分説得力があるのではないのでしょうか。



—ありがとうございます。先生は研究者でありながら、科学では証明できないことにも、偏見なく興味を持っているのがすごく素敵だなと思いました。

神馬：科学はもともと限界があるものだと思っていますから。かつて、クルト・レヴィンという社会心理学者が、自分の師である哲学者エルンスト・カッシーラーからの教えを述懐しています。「与えられた知識の水準を越えて前進するためには・・・後になって証明されるような方法や概念を、『非科学的だ』とか『非論理的だ』などと宣告を下す方法論的なタブーをうちこわさなくてはならない」(マローA. クルト・レヴィン—その生涯と業績、誠信書房、1972、p 12)。現代の科学では、CS60 の作用は解明できないかもしれません。しかし、解明できないからといって、その限界内でアヤシイといって退けるというのはどうか。いっぽう、研究者の中には「科学の力で何でも解決しよう」というタイプが割と多くいます。しかし実際には、わからないことの方が世の中多いと思うのです。今解明できないからと言って、いずれ解明されるであろう技術を軽視する態度はよくないと思います。

よいものはよいものとして取り入れてよいのではないか。一方、科学の力で作り上げた技術(各種予防接種等)があっても、国や家族が貧しいという理由で、その恩恵を受けられない方はたくさんいます。科学的に解明されていなくても、10年以上の実績があるCS60が貧しい国や貧しい人たちにとって役に立つものであれば、非常に大きな助けになります。

—最先端の医療があったとしても、それをそのまま持っていけない地域があるということですよね。病院そのものや設備が足りなかったり、医師がいなかったり、お金がなかったりという理由で医療を受けられない方も多いでしょう。日本に住んでいるとそういうところまで目が向かないものです。先生は国際保健のフィールドワークで、さまざまな地域の現状を目の当たりにされているのですよね。

神馬：ネパールやパレスチナの村を訪ね歩いて、医療の力が及ばない人が多くいることを知り、自分の無力さを感じていました。「こういう所でも何とかできないかな」とずっと考えてきたのです。CS60に出会って、「これは医療が行き届かない人たちの助けになる可能性が非常に高い」と感じました。であるならば、何らかの形でそれを世界に広めるというのは重要なことではないかと思います。

(つづく)



News Letter

vol.97_2021.2



CS60 ニュースレター

神馬征峰先生(第3回)

CS60 は科学の力では証明できない不思議な部分のある機器です。幅広い学問に見識のある神馬先生は、CS60 をどのように捉えているのでしょうか。また、CS60 が健全に発展していくにはどうすれば良いのでしょうか。神馬先生のご意見を伺いました。

—神馬先生は **CS60** のどういうところに興味を持っていますか？

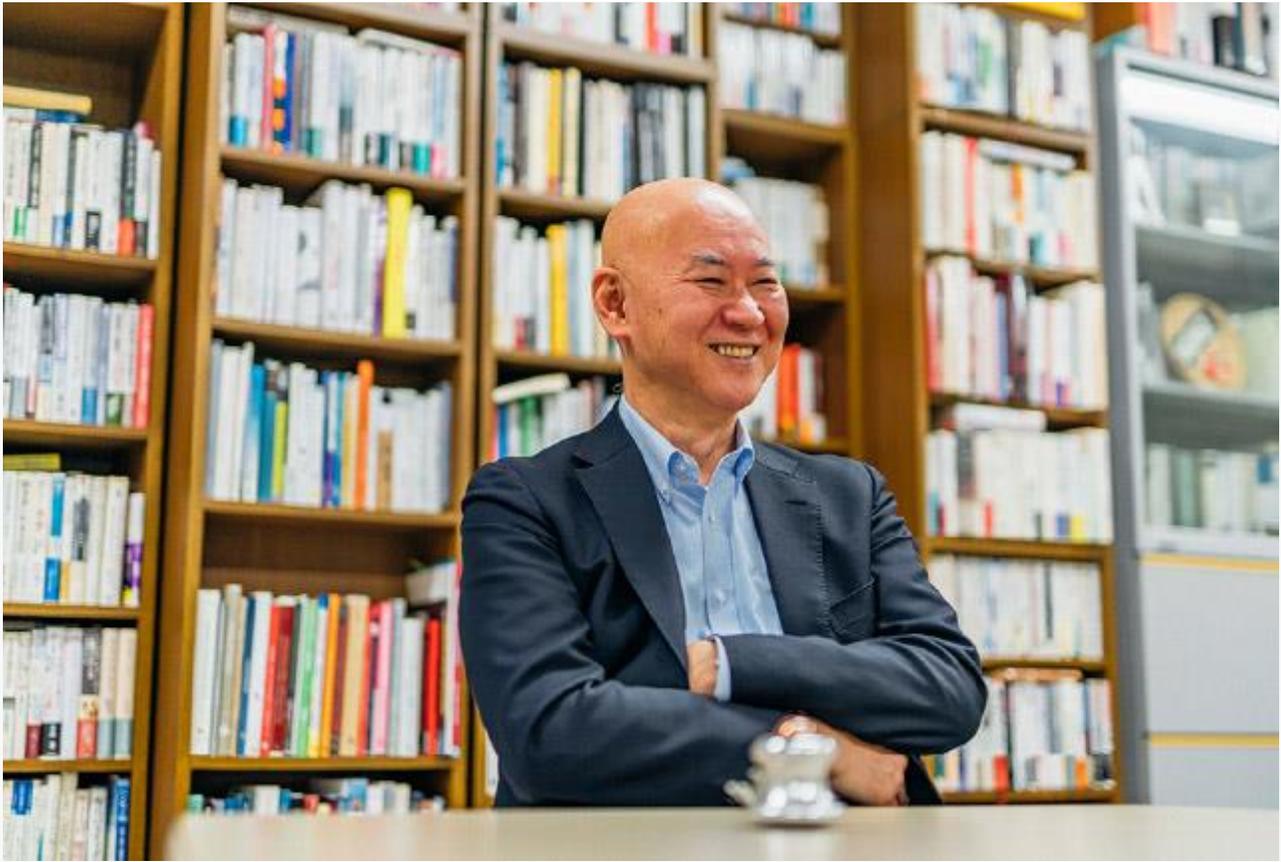
神馬： **CS60** は心の痛みも消えるという話がありますよね。そうすると体の中から老廃物が消えるだけでは説明できない、より深い何かがあるに違いありません。それについては、自分で色々想像して楽しめばいいと思っています。

—なんでもかんでもハッキリさせてしまうとつまらなくなりますよね。

神馬：不思議なことは不思議なこととして、自分で想像をたくましくして楽しんでいたらいい。例えば、小さな子供に「赤ちゃんはどこから来たの？」と聞かれて説明する時に、何と答えますか。男と女がどうこうと言うよりも、「コウノトリが運んでくれたんだ」と説明した方が納得させやすいですよね。 **CS60** にもそれに近いところがあると思うのです。自分の頭の中で論理的に納得できないものはダメという風に考える人もいますが、「そういうものだ」と思って楽しんだほうが良いのではないのでしょうか。

—よくわからない不思議な世界もありますよね。

神馬：そうですね。この前卒業生がきて、宇宙や星の話と一緒にしました。我々が研究するときには大事なのは、「なぜ空は青いんだろう」とか「なんであんなに星がたくさんあるんだろう」と、自然界の現象を虚心坦懐に不思議に思うことです。その延長戦上で、「なんでこのコロナの状況で、疑いの心のほうが信頼し合う心より強くなっちゃうんだろう」といった課題と取り組み、身近な課題解決の方法を検討していくことが重要です。現在の悩みを、科学的な思考方法を取りながらも、科学を過信せず、その力乗り越えた解決法も探っていく。そういう取り組みは大事だと思いますね。



—なるほど。先生は、これから **CS60** はどうなっていくと思いますか？

神馬：どうなっていくかを考えるべきか。それとも「どうあるべきか」を考えたほうがいいのか、悩ましいですね。後者だとすると、例えば、西村先生には「一人でも救うのが嬉しくてしょうがない」「誰かを助けてあげられることが自分にとって天職だ」という想いがあふれています。その気持ちをみんなで作るようになれば、**CS60** が健全に発展していき、世の中のためになるツールとして広がっていくと思います。ただ世の中には敵も多いです。「いいものは金儲けの材料にしよう」という人もいます。それに、いろいろな既得権益があるので、それを邪魔された人達の抵抗もあるかもしれません。そういうところとうまく折り合いをつけていけるかどうかは今後の課題になりますね。また、何か問題が出てきた時に、真摯に、丁寧に対処していけるかが重要になってきます。

—そうですね。何か問題が起こったら原因を考えて、みんなで真摯に対応していく気持ちが大切ですね。

(つづく)

☆フランチャイズの皆さまへ☆

Workplace(ワークプレイス)にて、西村先生の施術動画を公開中。
是非、お役立てください！！ご登録方法については、CS60 本部まで。

☆CS60 OFFICIAL YouTube チャンネルのお知らせ☆

ファウンダー・西村光久の活動の様子を映像でお届けする
オフィシャル YouTube チャンネル。チャンネル登録も是非お願い致します。

<https://www.youtube.com/channel/UCYGov6clfmm9suaEOBMHtsA/videos>

世界各国・日本国内での施術の様子を随時アップロードしております！！

本ニュースレターは、編集発行人・編集長 CS60 西村光久と名刺交換をさせていただいた方にお送りしています。

登録の解除をご希望の方は、お手数ですが、下記よりお手続きをお願いいたします。

CS60 ニュースレター購読解除

また、返信・お問い合わせは、info@cs60.com までお問い合わせください。

Copyright©cs60.com, ALL rights reserved.

1-4-4-401 Kita Aoyama, Minato-ku

Tokyo 107-0061 JAPAN

[購読中止](#) | [購読の管理](#)